

調理前にご確認ください。

※特に表記のない場合は、片手タイプ、両手タイプ共通の説明です。

1 洗います

(鍋本体、フタ、ゴムパッキング)

ご購入後、初めてお使いになるときは必ずお酢2~3滴と台所用中性洗剤で、製品についている油やゴミをよく洗い流してください。油が残ったまま火にかけますと油が鍋に付着して黄色く変色し、取れにくくなります。ミラー仕上げのステンレスの光沢をいつまでもきれいに保つため、柔らかいスポンジで洗ってください。

2 各部を点検します

各部の点検を怠ると、圧力がかからない、または目詰まりをおこして内部の圧力が異常に高くなってしまふなどのトラブルにつながる危険があります。毎回必ず点検をおこなってください。

センターバルブ

- 1 バルブソケットの穴に付着物が詰まっていないかどうか。
- 2 バルブキャップと圧力表示ピンがしっかりセットされているか。(もし圧力表示ピンが緩んでいたら必ずドライバーでしめ直してください。)



- 3 バルブキャップを指で引き上げ、上下させ、ひっかかりがなくスムーズに動くかどうか。



安全弁

- 1 フタの裏側から安全弁を指で押し上げ、動かすかどうか。(安全弁のパネはフタの裏側についています。)



- 2 目詰まりや付着物などがないか。(安全弁が汚れている場合は、フタの裏側から安全弁を押し上げながら水を流して汚れを取ってください。)



鍋本体の取っ手とフタの取っ手

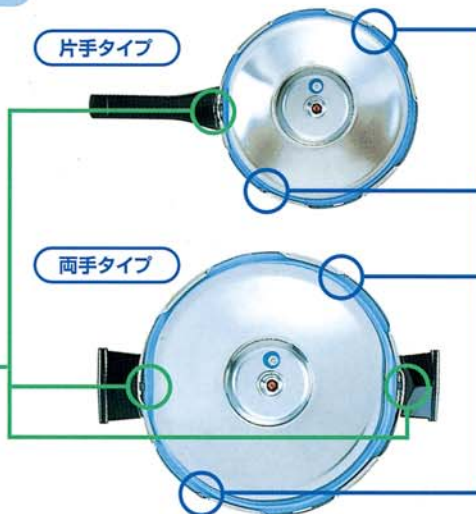
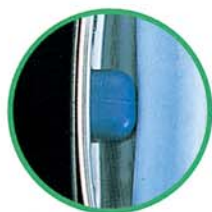
鍋本体の取っ手とフタの取っ手のネジがしっかりと閉まっているか。(グラグラしているるとたいへん危険です。もし緩んでいたら、必ずドライバーでしめ直してからご使用ください。)



安全のため必ず使用前に点検をしてください。

ゴムパッキング

- 1 フタ内側が汚れていないか確認し、フチに沿うようにセットしてください。
- 2 安全ロックボタンの先端がゴムパッキングと接触するようにセットしてください。



- 3 フタのフチにある三角形の突起物の下にゴムパッキングをセットしてください。



※正しくセットされていない場合は圧力表示ピンが上がらない原因になります。